

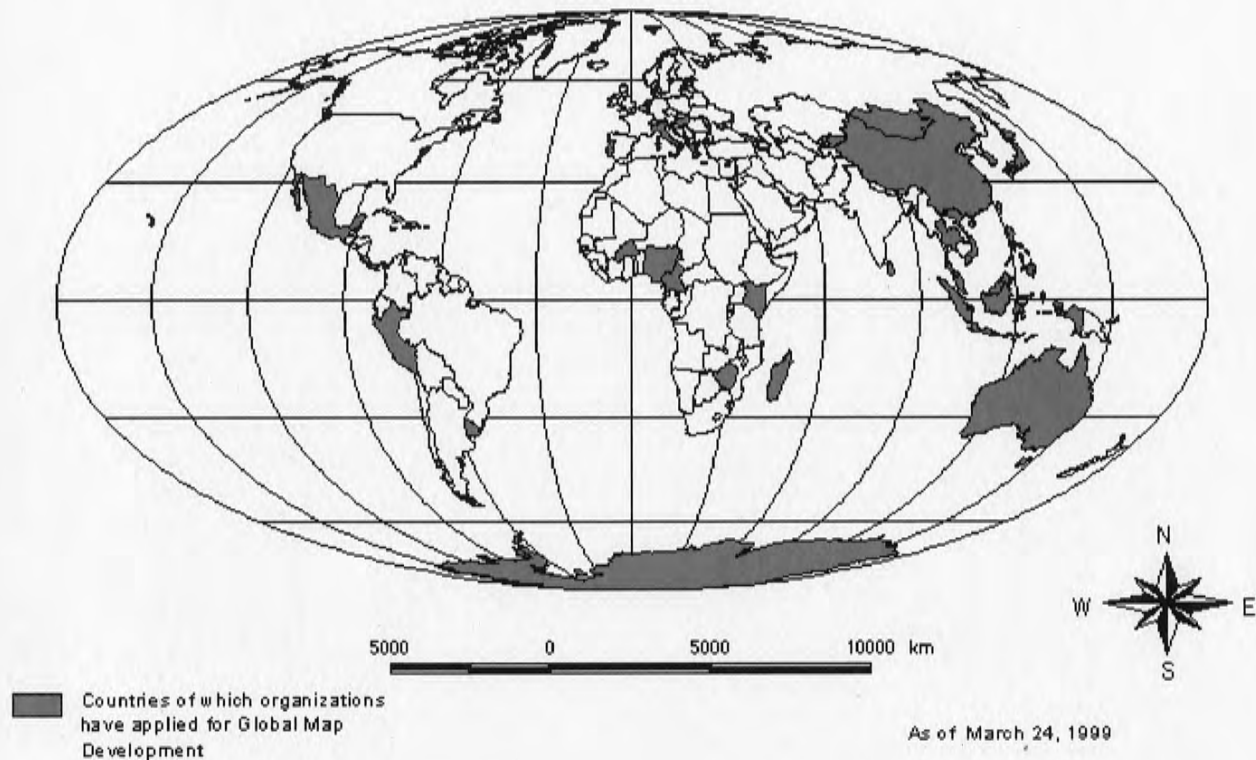
GLOBAL MAPPING NEWSLETTER

第13号

目次

1. 地球地図プロジェクトの参加申し込み状況
2. 第2回「地球地図ミニフォーラム」及び「アジア地域の地球地図整備に関する会合」を開催
3. ISCGMとISO/TC211の間にカテゴリーAの連携関係が結ばれた
4. 最初の地球地図
5. ケンブリッジ会議の地球地図セッション
6. 地球地図及び関連の会合予定

Current Participation in Global Mapping Project



地球地図プロジェクトの参加申し込み状況

国連は、1998年11月に地球地図国際運営委員会(ISCGM)が行う地球地図プロジェクトへの参加呼びかけの書簡を、国連統計部長ハーマン・ハーバーマン氏の推薦状を添えて国家地図作成機関(NMOs)の長宛に送付した。国家地図作成機関からの反応は、まずまずであった。世界の国家地図作成機関からすでに30を越す申し込みが事務局宛に送付され、20以上の機関が自国政府の承認を待っているか、参加を積極的に検討している。下記の

地図は、参加機関が属する国を表す。国家地図作成機関は、ISCGMや関連の機関が実行してきた環境に関する多国間宣言実施のための地球地図セミナーや地球地図フォーラム、季刊のニュースレターなどにより地球地図プロジェクトを熟知している。本プロジェクトへの参加状況がこの時期としては良好であるのは、こうした努力によるものと思われる。しかし、地球地図を西暦2000年までに完成させるためには、まだ回答をしていない国家地図作成機関に対して参加するよう勧めることが必要である。

第2回「地球地図ミニフォーラム」及び

「アジア地域の地球地図整備に関する会合」を開催



建設省国土地理院は、3月2日～3月4日に茨城県つくば市の国土地理院において、第2回「地球地図ミニフォーラム」及び「アジア地域の地球地図整備に関する会合」を開催した。

初日の地球地図ミニフォーラムは、国土地理院が本年度より地球地図の整備を開始したことを踏まえ、地球地図の整備側と利用者側との理解を深めることを目的として実施したもので、午前中は地球地図を整備する立場から仕様、既存の地球規模のデータ等についての講演、午後は地球地図の利用する立場から温室効果ガス放出の計算や砂漠化、持続可能な農業等の講演が行われた。このフォーラムは一般に公開され、24ヶ国から延べ96名が参加した。

フォーラムに引き続いて3月3、4日に開催されたアジア地域の地球地図整備に関する会合では、14ヶ国の国家地図作成機関の代表者が集まり、地球地図プロジェクトへの参加拡大に向けての具体的なアプローチ方法について話し合いが行われ、(1)各国地図作成機関にとって地球地図プロジェクトは参加すべき重要なプロジェクトであること、(2)プロジェクト未参加国の会合出席者は、所属機関のプロジェクトへの参加に向けて具体的な行動を起こすこと、(3)アジアの国々と日本等地球地図国際運営委員会参加国との協力関係はデータ整備を進める上で非常に重要であること、などについて会合出席者の合意が得られた。

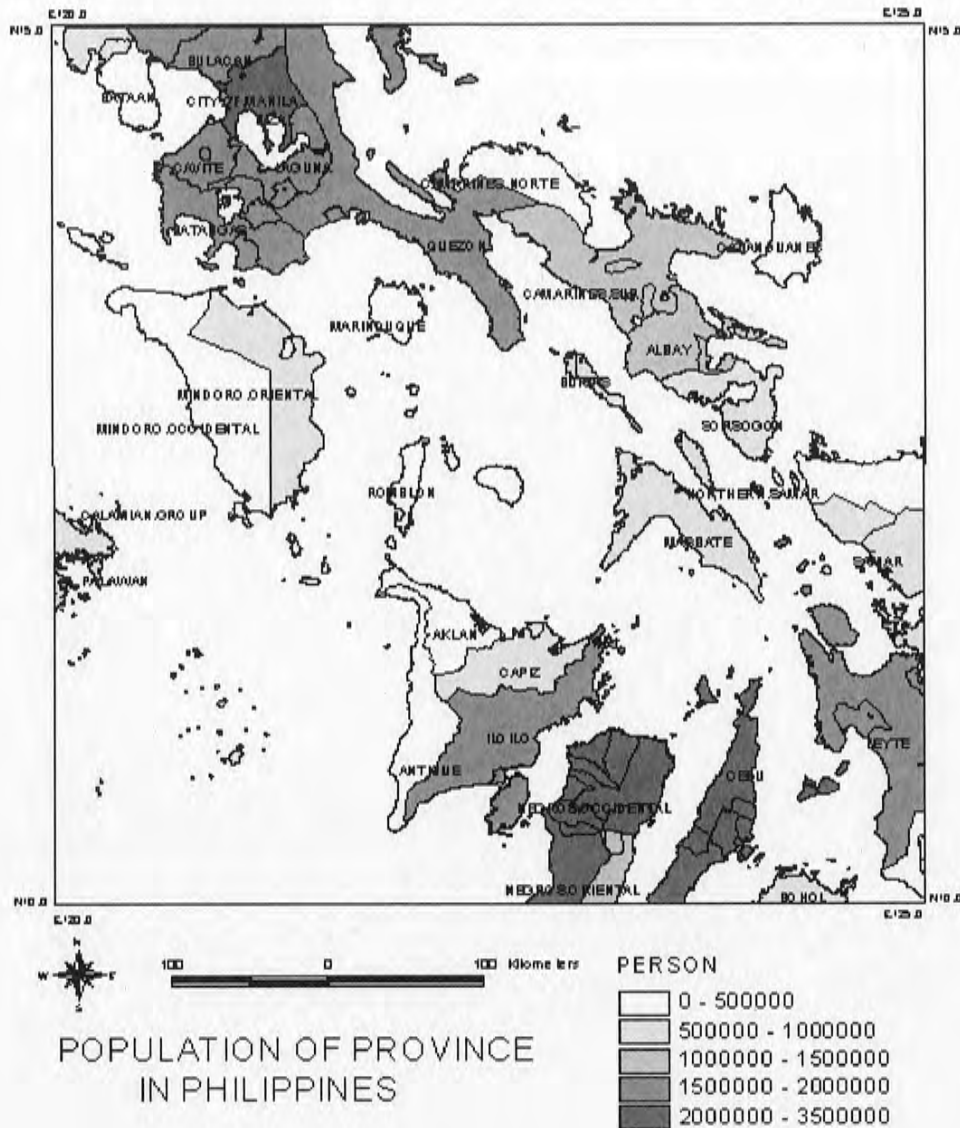
ISCGMとISO/TC211の間にカテゴリAの連携関係が結ばれた

ISCGMの委員長は、第3回地球地図国際運営委員会の決議に基づき、1998年5月14日付でISOの本部宛にISO/TC211との間でカテゴリAの連携関係を結ぶための書簡を送った。この要請に応じてISO中央事務局は、ISCGMとISO/TC211の間にカテゴリAの連携関係を結ぶことを正式に確認する書簡を1998年12月3日付で送った。

カテゴリAの機関は、ISO/IECの規約に従い、技術委員会や小委員会の作業に対して、この技術委員会や小委員会が扱う課題について効果的な貢献を行う機関であると定義されている。ISO/TC211のカテゴリAの機関には、国際地図学協会(ICA)、国際写真測量リモートセンシング学会(ISPRS)、オープンGISコンソーシアム(OGC)、アジア太平洋地域GIS基盤常置委員会等がある。

この連携により、地球地図の整備、入手、利用の促進と品質の向上が期待される。

国土地理院は、フィリピン、タイ、ヴェトナムの国家地図作成機関との協力で地球地図の整備を行っています。ちょうど最初の地球地図が完成できたところです。図は、その地球地図を用いフィリピン中央部について県レベルの行政域を人口に応じて色づけしたものです。この地球地図は、検査を実施する前のものであり、これら3ヶ国と日本が品質管理の作業を今後行う予定です。



ケンブリッジ会議の地球地図セッション

ケンブリッジ会議は、1999年7月13日～23日までケンブリッジのセントジョンズ・カレッジで開催される。多くの国家地図作成機関の幹部職員のが参加し、政策決定者や援助機関、主な顧客機関やサービス提供者も招待される。会議は10のセッション及びその他のプログラムにより構成される。このセッションのなかに、国土地理院院長の野々村邦夫氏の企画による地球地図セッションが含まれる。

7月21日(水曜日)の9:00～12:30に行われる地球地図セッションのプログラム案は、以下のとおりです。

- * 座長:
(ISCGM委員長、ジョン・エステス教授)
- * 基調講演:
(国土地理院、野々村邦夫氏)
- * テーマ別講演:
 - (1) 意思決定のための地球地図
(IGBP、ウィル・ステファン博士)
 - (2) 持続可能な経済発展のための地球規模地理情報の役割
(バングラデシュ測量局、モンダル氏)
 - (3) 災害の減少と緩和のための全地球空間データの利用
(USGS、K・エリック・アンダーソン博士)

(4) GSDI構築における地球地図プロジェクトの役割
(DISR: オーストラリア産業科学資源局、ドルー・クラーク氏)(未確定)

これは、プロジェクトに未参加の国家地図作成機関の幹部職員に対して、地球地図の重要性を働きかける重要な機会であり、多数の参加と熱のこもった討議が期待される。

ケンブリッジ会議のあと、第6回ISCGM会合が同じ場所で7月24日に開催される。第1期地球地図整備の詳細について議論される予定である。

地球地図及び関連の会合予定

以下は地球地図及び関連の会合予定です。関連の会合についての情報を歓迎します。“*”印の会合は、後日正式な確認がなされます。

1999年

- ・ 4月19日～22日、中国、北京
第5回PCGIAP会議
- ・ 7月19日～23日、英国、ケンブリッジ
ケンブリッジ会議
- ・ 7月24日
第6回ISCGM
- ・ 8月14日～21日、カナダ、オタワ
第19回国際地理学会議
<http://www.ccrs.nrcan.gc.ca/ica1999/>
- ・ 9月29日～30日、日本、京都
第9回ISO/TC211本会議
- ・ 11月1日～5日、オーストラリア、フリマントル
第6回東南アジア測量士会議
<http://www.isaust.org.au/40thcong/index.htm>

2000年

- ・ 2月?、タイ、バンコク
第15回UNRCCAP
- ・ 3月9日～10日、南アフリカ*
第10回ISO/TC211本会議
- ・ 3月19日～4月2日、南アフリカ、ケープタウン*
第28回環境リモートセンシング国際シンポジウム
- ・ 7月14日～26日、オランダ、アムステルダム
第19回ISPRS会議
- ・ 9月28日～29日、米国*
第11回ISO/TC211本会議

[本号のニューズレターの先頭 に戻る](#)

[地球地図ニューズレター目次 に戻る](#)

URL: http://www1.gsi-mc.go.jp/iscgm-sec/news/ns_lttr_jpn-13.html

Any comments or requests are appreciated.

Last modified: September 10, 1999